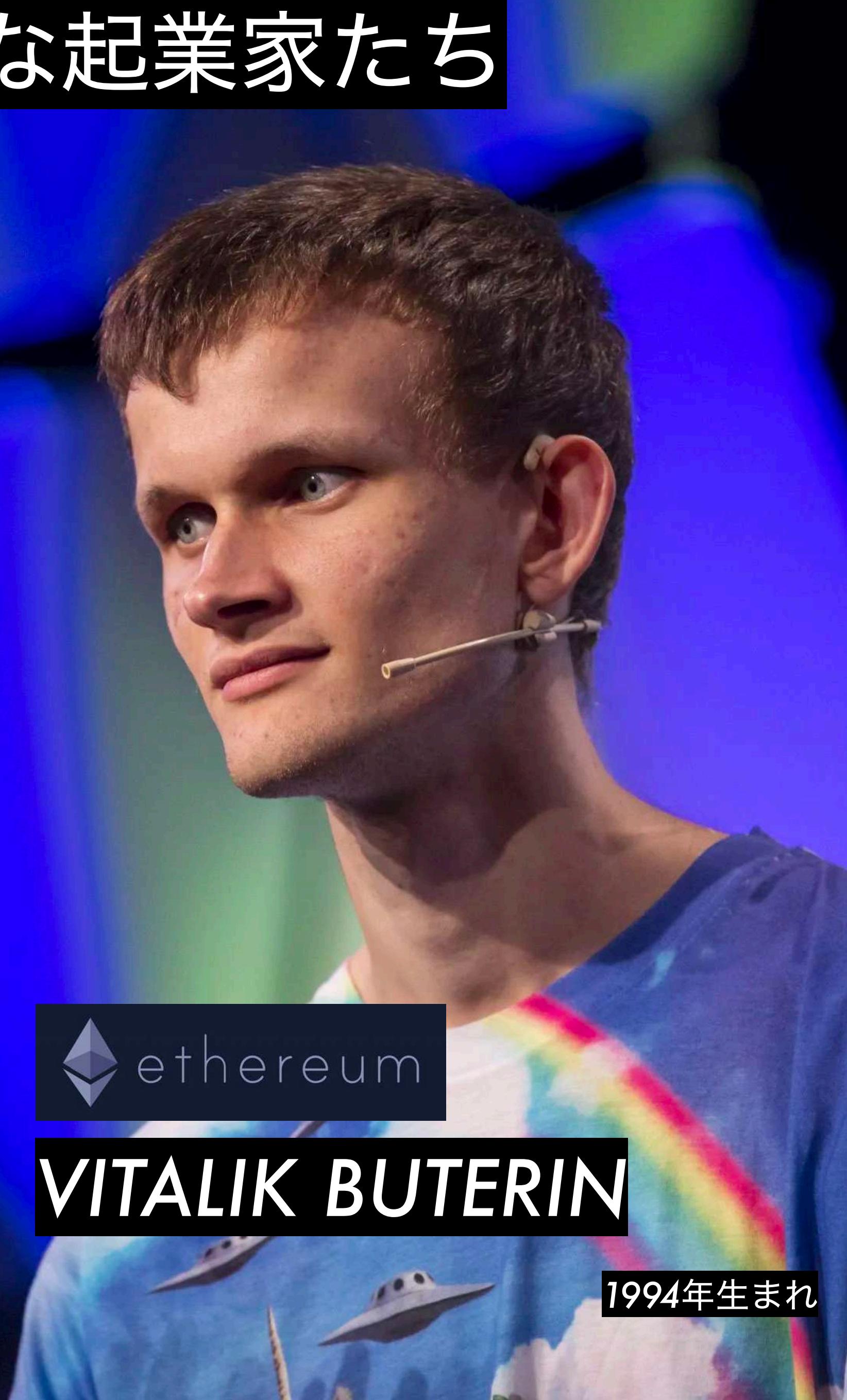
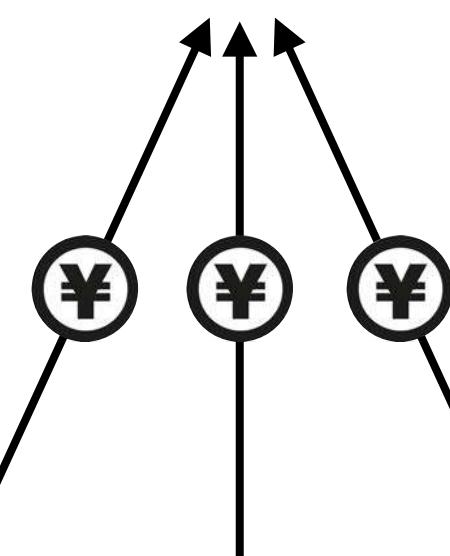


# WEB3分野の先駆的な起業家たち



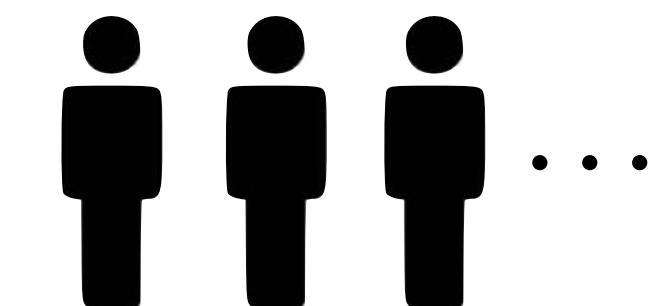
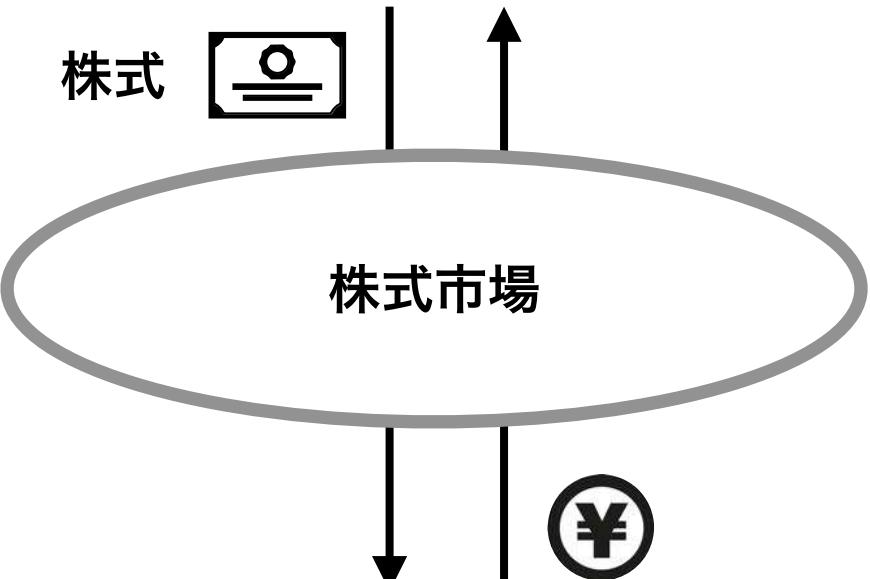
# 共同して大きなことをやる仕組みの変遷

合資会社



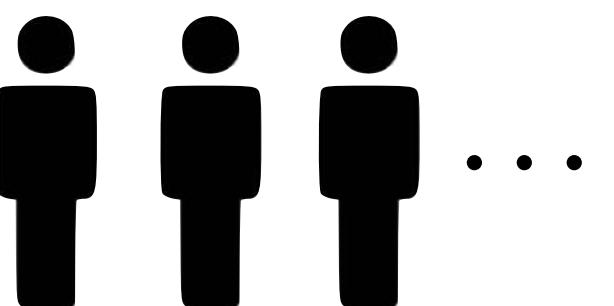
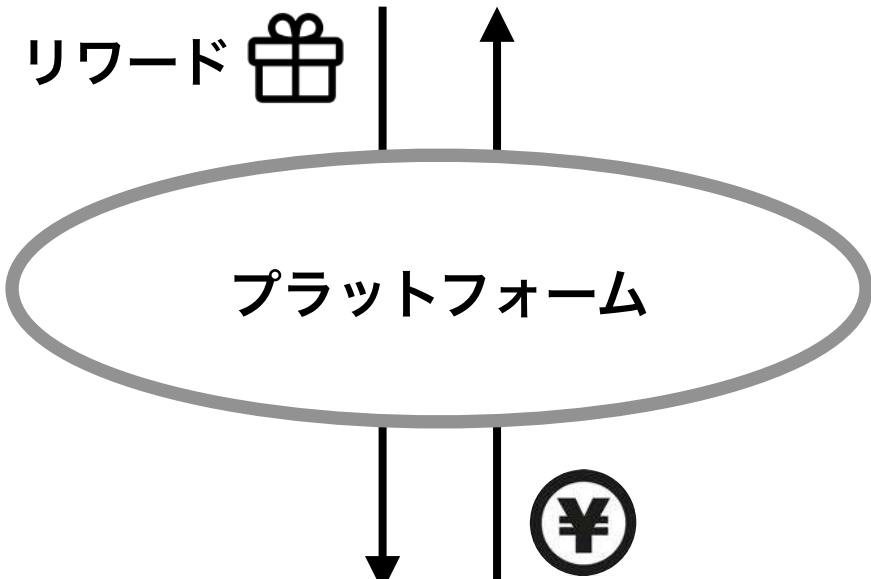
顔を知る人

株式会社



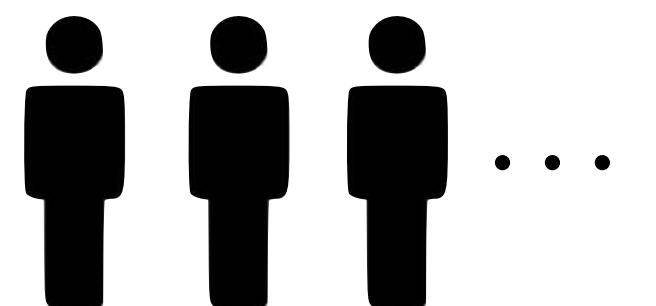
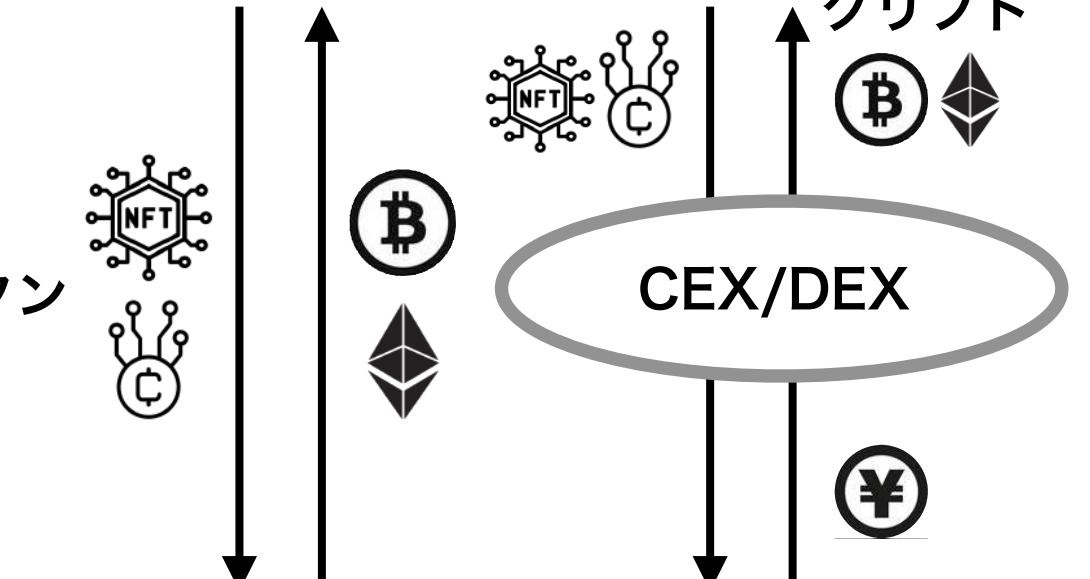
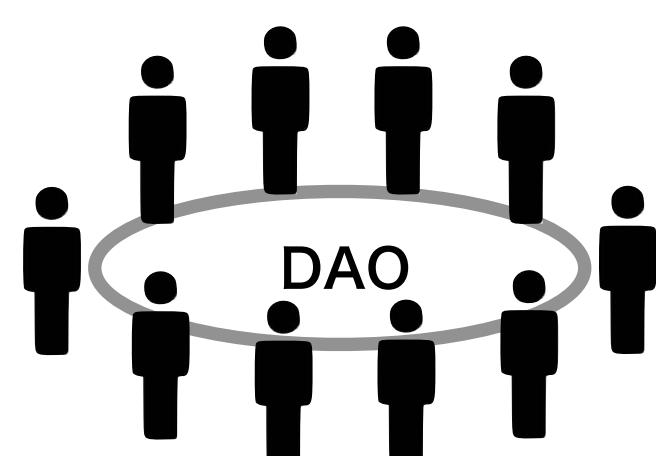
ステークホルダー (n)

クラウドファンディング



支援者 (n)

DAO

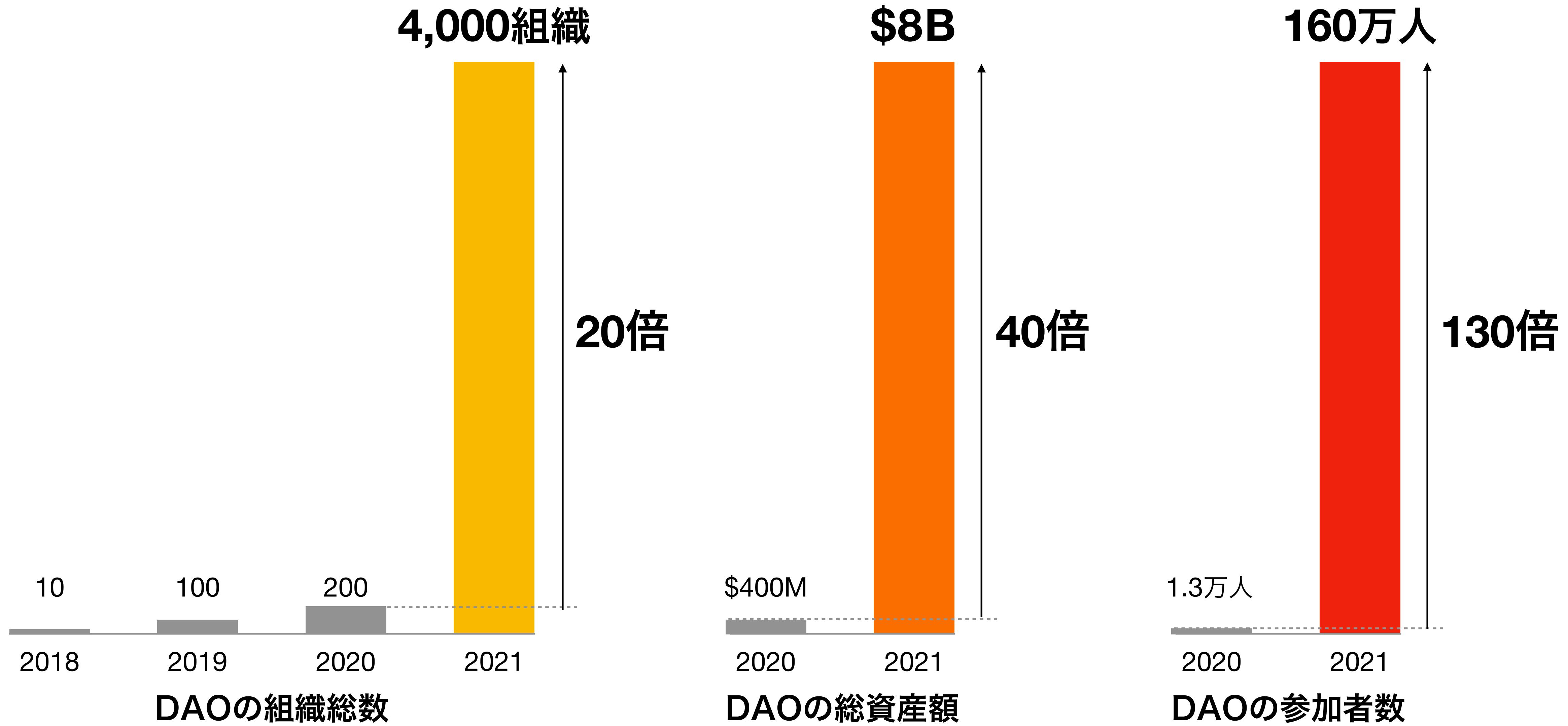


トークン所有者 (n)

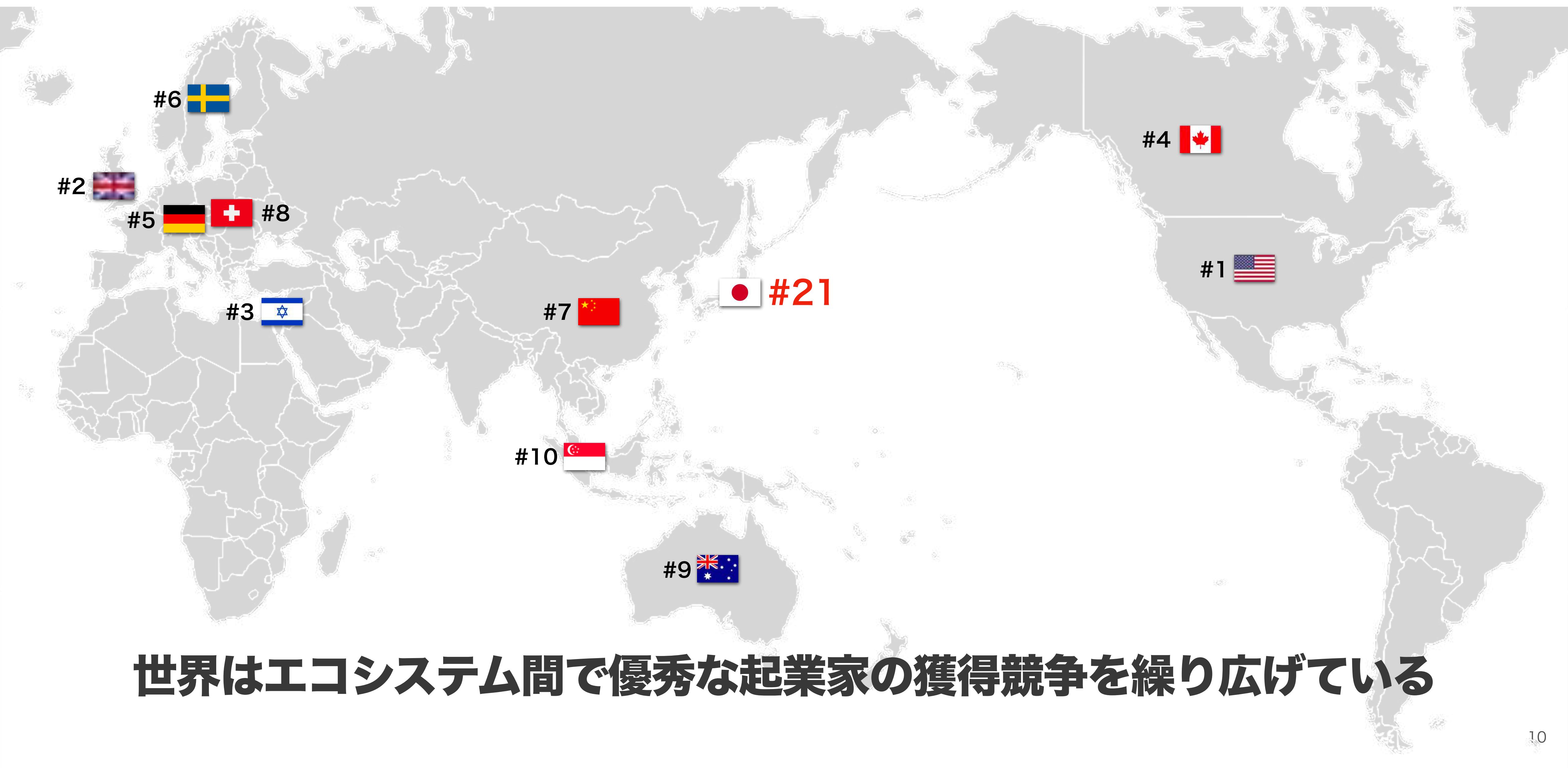
新しい富の創出の仕組みとしてDAOが生まれている



# DAOの成長の推移（グローバル）

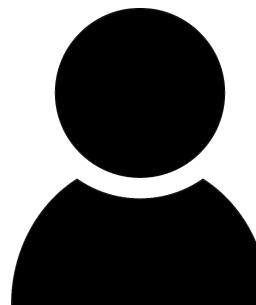


# TOP ECOSYSTEMS IN THE WORLD

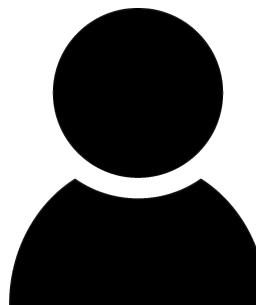


# スタートアップの生の声

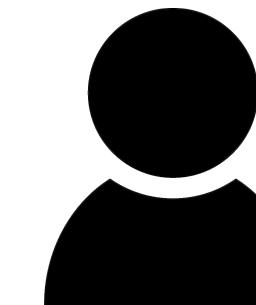
トークンをスワップしただけで課税されるのはキツイ。助成金でもらった暗号資産も売上対象なので税金で死ぬ。



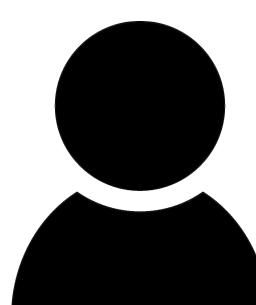
日本ではブロックチェーンやクリプトはなぜか怪しい投機的な通貨と捉えられるふしがあってつらい。



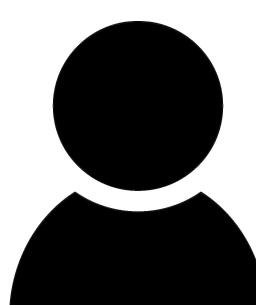
Web3は社会システムをガラリと変えるインパクトがあるのに、スタートアップを応援するどころか邪魔している。



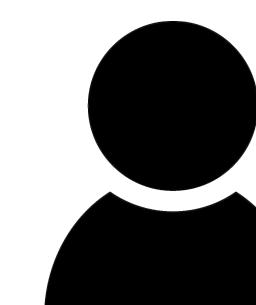
日本ではWeb3関連事業はNFTくらいしかできない。海外法人を建て移住しないとトークンすら発行できない。



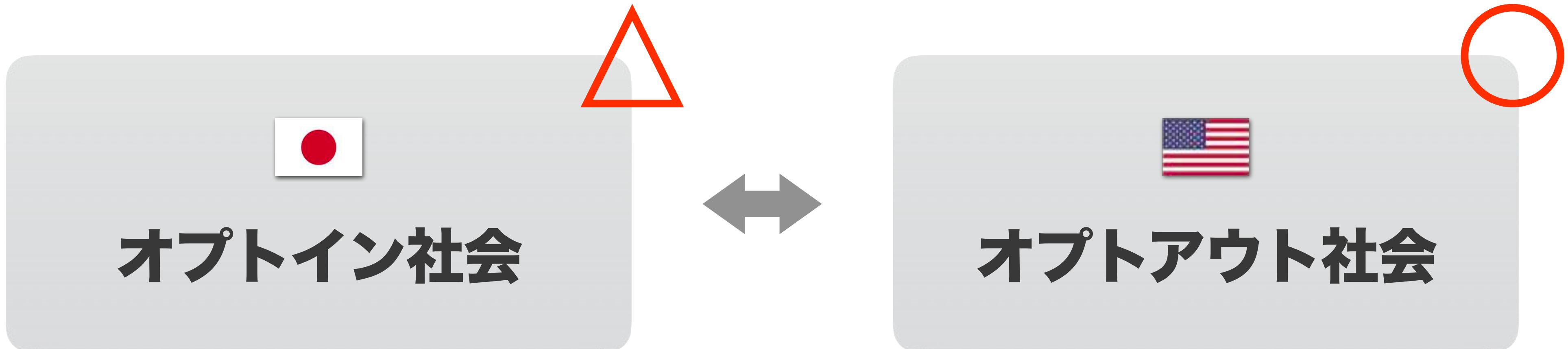
クリプトが絡む事業をやっていると銀行口座が開けない。



世界中でweb3関連イベントが開催されているのに、日本にはほとんどない。



# 優秀な起業家が日本に集まってくるには？



「法整備や改正が追いついていない領域のことは、たとえ法に抵触していなくてもやってはいけない」という原則禁止社会。「許可を得たものだけが実行可能」というホワイトリスト方式で規制を作ることが多い。それゆえ、検討を重ねた結果、リスクを鑑み新しいことはやらないという方針に落ち着くことも少なくない。

「新しいことにまずはトライさせ、その過程で発生した問題を鑑み、禁止事項を必要に応じて追加しながら修正していく」原則許可社会。「禁止されることだけ処罰する」というブラックリスト方式で規制を作ることが多い。禁止事項だけ気にしておけばあとはなんでもチャレンジできるため、先進的な社会実験の環境が生まれやすい。

**法の未整備領域にチャレンジしてイノベーションを起こそうとするスタートアップを公式に応援すること**

# 法の未整備領域にチャレンジする起業家を応援する

「法の未整備領域でやって大丈夫かな…」と萎縮しそうになる若き起業家たちを「頑張れ！もっとやれ！どんどんやれ！」と応援し続ければ、彼ら彼女たちは法の未整備領域に果敢にチャレンジするようになるでしょう。

もしなにか問題が発生したら、ただちに当事者とそれにまつわる関係者、行政とで議論を重ね、「どうすればイノベーションの芽を摘むことなく問題が再び発生しないようにできるか？」を議論し、対策を講じる。その際に大事なのは、いわゆる「有識者」と呼ばれる、実際には関係していない人たちだけで議論をして、決めてしまうような慣行をやめること。

オプトインからオプトアウトへのシフトは、これまでの考え方から真逆に振れるものですので、政府や規制当局にとって困難をともなうものかもしれません。しかし、イノベーションが生まれる環境づくりは国の発展のためにとても大事であり、そのためには、政府が法規制に関する考え方を根本的に変えることが必須だと思います。

もし政府がこのように考え方を変え、イノベーションに対してポジティブな姿勢を国内外に発信することができれば、優秀な起業家、すなわち、新しい社会の可能性を探究しているイノベーターたちは、賛同と称賛をもって日本を評価してくれることはまちがいありません。